

特別版

今からできる！

ごみ減量のススメ

プラスチックの捨て方 豆知識

01 やってみよう！納豆食べたらリサイクル

栄養価が高く、毎日食べる人も多い納豆。食べ終わった納豆パックをそのまま捨てていませんか？発酵食品は腐敗が進みやすく、残りかすは悪臭を発するほか、ゴキブリやハエを呼び込む原因にもなります。あのネバネバ、意外と簡単に落ちるので、せっかくならさっと洗って**容器包装プラスチック**としてリサイクルに出してはいかがでしょうか。



食べ終わった納豆パックをシンクに置き、その上で他の食器を洗っていると、降り注ぐお湯と洗剤だけでネバネバが落ちます。

30秒おいておくだけでまったく違う！

彦根市公式 YouTube では私からもご紹介をしています



バックナンバー



田島市長



親子で分別を学ぼう！ 清掃センター見学会を開催しました

昨年の8月、ごみ減量やリサイクルに取り組むきっかけにさせていただくと、市内の小学生と保護者を対象に清掃センターの見学会を開催しました。

2日間で約100名の親子が参加し、普段は見ることができないごみピットやモニタールームを見学したほか、破砕機を操作しての粗大ごみ処理や、ごみの分別体験などに挑戦していただきました。



親子で見学会に参加された
高橋 園代さん、高橋 楷大さん

ビンのふたは埋立ごみだよ？



▲ 分別体験

見学会に参加した5年生の楷大さんは、清掃センターは人間に例えると120歳ほどの年齢になることを知り「**すごいおじいちゃんや！大事にしてあげないと！**」と話します。ごみの分別体験では積極的に職員に質問しながら取り組んでくれました。小学校からの案内を見て申し込まれたというお母さん、園代さんは「知らずに捨ててしまっていたけど、実はリサイクルができたものもあり、勉強になりました。**いらないものは買わない、できるものはリサイクルをする、そうして大事な資源を守って生活しよう**と思います。」と話されました。



▲ 正しく分別されなかったごみを見学

02 ペットボトルはリサイクルの優等生

ペットボトルは1種類の素材で作られていることからリサイクルがしやすく、何度も新しいボトルに生まれ変わることができる「リサイクルの優等生」です。

彦根市でも、回収したボトルはリサイクル業者により原料（ペレット）に戻され、再び飲料メーカーへ卸すことで、資源循環を実現しています。

ペットボトルの得意わざ ボトル to ボトル！



飲み終わったら中を軽く水洗いし、キャップとラベルを外してリサイクル

ボトルは原料（ペレット）に戻す

▲ 主なペットボトル回収場所



※ペットボトルを容器包装プラスチックに出されていると、回収されませんのでご注意ください。

ごみ処理の未来を支える、計画づくりが進行中

将来にわたって安定したごみ処理を続けていくため、現在、彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町で構成する彦根愛知犬上広域行政組合では、新しいごみ処理施設の整備に向けて検討が進められています。

これまで、コストを抑えつつ環境にやさしい「**好気性発酵乾燥方式**」という処理方式について調べてきましたが、実際に運営していくうえで安定性や費用の面などに課題があることが分かりました。そのため、1月16日に開かれた組合議会の臨時会ではこの方式の検討を中止することが決まりました。

この決定を踏まえて今後は、より安定してごみ処理ができる仕組みや施設のあり方について、慎重に検討を進められます。

既に48年が経過している清掃センターですが、新施設完成まではごみの減量と正しい分別によってなるべく負担を減らして稼働を続ける必要があります。この取組は環境を守ることに繋がります。

持続可能な資源循環型の社会を実現するためにも、ご協力をお願いします。



▲ 広域行政組合のHPではこれまでの検討経過などの詳細を公開されています

